授業科目名・形態	ゼミナールⅡ（卒業試験を含む）　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	医療福祉学科担当教員	実務経験の有無	有	開講期	4年前期･後期
科目ナンバリング	W5-4014				

【授業の主題】

ゼミナールⅠの作業と論文執筆の考え方・方法を踏まえながら、論文構成を検討し、計画的に草稿を作成する。このプロセスでは、ディスカッションを交えた経過報告と個別指導を随時行う。そして、草稿を修正しながら研究の成果物を完成させることをねらいとする。さらに、卒業試験に向けた準備を行う。（各担当者の研究室に所属）

【到達目標】

1）研究テーマを構想し、先行研究を踏まえながらテーマ追究の方法を検討し、研究計画を作成する。
2）卒業論文の完成
3）卒業試験の合格

【授業計画・内容】

（前期）
第 1 回　オリエンテーション、ゼミ論準備の確認
第 2 回　研究テーマの構想
第 3 回　研究テーマの絞り込み
第 4 回　研究計画案の作成と研究方法の検討
第 5 回　先行研究・資料・データの収集(1)
第 6 回　先行研究・資料・データの収集(2)
第 7 回　先行研究・資料・データの収集(3)
第 8 回　研究計画の作成と研究方法の確認
第 9 回　研究ノートの作成(1)
第 10 回　研究ノートの作成(2)
第 11 回　研究ノートの作成(3)
第 12 回　収集資料・データの検討(1)
第 13 回　収集資料・データの検討(2)
第 14 回　ゼミ論タイトルの検討
第 15 回　「序論」素描

（後期）
第 1 回　ゼミ論準備状況の確認と今後の進め方
第 2 回　論文構成の考え方と方法
第 3 回　論文の書き方
第 4 回　論文構成の検討と先行研究・資料の再確認
第 5 回　草稿作成(1)
第 6 回　草稿作成(2)
第 7 回　草稿作成(3)
第 8 回　全体経過報告(1)
第 9 回　草稿修正(1)
第 10 回　草稿修正(2)
第 11 回　草稿修正(3)
第 12 回　全体経過報告(2)と成果物の準備・確認
第 13 回　成果物作成(1)
第 14 回　成果物作成(2)
第 15 回　成果物発表とゼミのまとめ

【授業実施方法】

演習形式

【事前・事後学習】

毎回、自己の研究内容と関連した文献等を中心に 30 分の予習及び教員の指導内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。教員の指示に従い、先行研究の論文や関係する資料・データの収集を行っておくこと。また、指示された草稿の修正等を期日までに行っておくこと。

【主な関連する科目】

ゼミナールⅠ

【教科書等】

川村他　改訂福祉系学生のためのレポート＆卒論の書き方　中央法規出版

【参考文献】

必要に応じて用意する

【成績評価方法】

授業への取組み姿勢等 10%、卒業試験 30%（卒業試験に合格しない場合、単位認定を行わない）、卒業論文 60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉領域での実務経験から得た知識や技術と深く関わりを持つ研究へ結びつける授業としたい。

【学生へのメッセージ】

卒業研究に向けた取り組みとなることから、自分なりの問題意識と主張を明確にし、論文作成に向けた各種取り組みを自主的かつ主体的、積極的に展開してほしい。研究とは何か探る一連の過程の集大成となる。共に考え、自主的かつ計画的に学ぶ喜びを体験してほしい。